

情報安全教育カリキュラム

領域	分野	学年	指導事項	指導教科	関連する単元名等
心を磨く領域	情報社会の倫理	2	約束やきまりを守る	道徳	「みんなのものだから」4-(1)資料「かくしたボール」東京書籍
		2	人の作ったものを大切に	道徳	「ものを大切にしよう」1-(1)資料「おばあちゃんのお手玉」東京書籍
		3	自分の情報や他人の情報を大切に	なでしこ	「この国、どんな国？」「友だちなかよし大作戦」
		1	相手への影響を考慮して行動する	道徳	「ごめんなさいがいえるかな」1-(4)資料「いたずらがき」東京書籍
		4		道徳	「みんなのことを考えて」4-(1)資料「レストランで」文部科学省
		5	情報にも自他の権利があることを知り尊重する	国語	「ゆるやかにつながるインターネット(インターネットを使って調べる)」
		5	他人や社会への影響を考慮して行動する	道徳	「信じる心」2-(3)資料「知らない間の出来事」文部科学省
		5		社会	情報化社会と私たちの生活
	6	道徳	「大切な友達だから」2-(3)資料「幸せコア」文部科学省		
	法の理解と遵守	2	生活の中でのルールやマナーを知る	道徳	「きまりを守ると楽しいね」4-(1)資料「おばけ学校のきまり」文溪堂
		2	情報の発信や情報をやりとりする場合のルールやマナーを知り守る	道徳	「みんながよろこぶように」4-(2)資料「みんなのニュースがかり」文部科学省
		4		なでしこ	「ごみ減量大作戦」
		5	何がルール・マナーに反する行為かを知り絶対に行わない	道徳	「信じる心」2-(3)資料「知らない間の出来事」文部科学省
		6	「ルールや決まりを守る」ことの社会的意味を知り尊重する	家庭	「考えようこれからの生活」
6		契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない	なでしこ	「携帯電話やインターネットは便利？危険？」	
智恵を磨く領域	公共的なネットワーク社会の構築	4	協力し合ってネットワークを使う	なでしこ	「もえるファイヤー～山の学校を盛り上げよう～」
		5	ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	社会	情報化社会と私たちの生活
	安全への配慮	1	大人と一緒に使い、危険に近づかない	道徳	「いけないことはやらないよ」1-(1)資料「ぼんたとかんた」文部科学省
		3	危険に出会ったときは大人に意見を求め適切に対応する	なでしこ	「この国、どんな国？」
		3	知らない人に連絡先を教えない	道徳	「自分で気をつけよう」1-(1)資料「少しだけなら」文部科学省
		3	健康のために利用時間を決め守る	体育	毎日の生活と健康
		4	不適切な情報に出会ったときは大人に意見を求め適切に対応する	なでしこ	「よろしく、外国のお友達」
		5	予測される危険の内容が分かり避ける	なでしこ	「世界の中のヒロシマ」
		5	情報には誤ったものもあることに気付く	国語	「新聞を読もう」
		5	情報の正確さを判断する方法を知る	社会	情報化社会と私たちの生活
		6	不適切な情報であるものを認識し対応できる	なでしこ	「夢を語ろう」「携帯電話やインターネットは便利？危険？」
		6	自他の個人情報や第三者に漏らさない	なでしこ	「携帯電話やインターネットは便利？危険？」
		6	人の安全を脅かす行為を行わない	なでしこ	「携帯電話やインターネットは便利？危険？」
	情報セキュリティ	4	認証の重要性を理解し正しく利用できる	なでしこ	「すべての人にやさしいまち」
		5	不正使用や不正アクセスされないように利用できる	なでしこ	「世界の中のヒロシマ」
		6	情報の破壊や流出を守る方法を知る	なでしこ	「携帯電話やインターネットは便利？危険？」